

2月3日  
自分たちのマチのことだから自分たちで考えてみる  
弟子屈小学校4年生がまちづくり授業



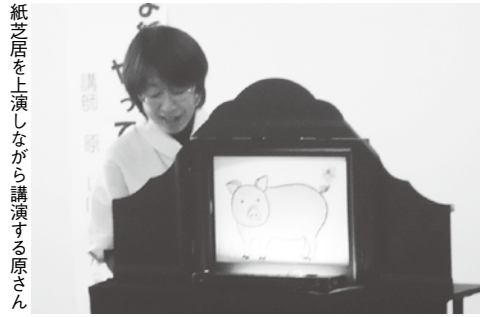
積極的に質問に答える児童  
弟子屈小学校の4年生の児童が2月3日、役場まちづくり政策課の職員を講師に「町おこし・まちづくりの学習」を行いました。  
講師は、役場が行う仕事や、本町の人口減少の状況などをスライドで説明。人口が減るとどうして困るのか、増やすためにはどうしたらいいのかなどを児童に問いかけました。また「弟子屈はすてきなマチ。このマチが大好きだ」と思う人で弟子屈をいっぱいにすることがまちづくり」と話し、児童の皆さんは熱心に聴き入っていました。

2月3日  
みんなの心の中にある鬼をやっつけよう  
おひさま保育園で節分の豆まき



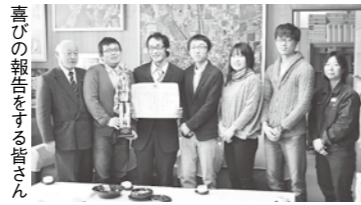
鬼から逃げ惑う子どもたち  
おひさま保育園(元山久美子園長)で2月3日、節分の豆まきが行われました。  
初めに、先生が節分や鬼についての紙芝居を披露。みんなの心の中にある「泣き虫鬼」や「意地悪鬼」「好き嫌い鬼」などを退治しようと約束しました。その後、豆まきの歌を終えたところで、太鼓の音とともに、2匹の鬼が登場。泣いて逃げる子や果敢に豆を投げる子などさまざまでしたが、どうにか鬼を退治して一安心でした。

2月6日  
紙芝居で心を豊かに  
原しげ子さんが紙芝居に関する講演会



紙芝居を上演しながら講演する原さん  
町図書館主催の読書活動講演会「たのしい紙芝居やってみよう紙芝居」が2月6日、町公民館で行われ、親子連れの皆さんなどが参加しました。  
講師は「おはなしネットほんほん(釧路市)」の原しげ子さん。原さんは、紙芝居は幅広い世代の方が楽しめる話し、その選び方や読み方などについて、実演を交えながら講演。情感たっぷりの紙芝居に、大人も子どもも大喜びでした。

2月4日  
牧草栽培への取り組みを評価  
弟子屈町4Hクラブが全道大会で最優秀賞



喜びの報告をする皆さん  
農業青年で組織する弟子屈町4Hクラブ(猪狩大輔会長)の皆さんが、1月28・29の両日、札幌市で開催された平成27年度北海道青年農業者会議のプロジェクト発表(畜産経営部門)で最優秀賞に輝き、2月4日に役場で受賞を報告しました。  
今年のテーマは「ペレプロ～安心してください、生えてますよ!」。糖の含有率が高く、発酵品質も向上させる牧草ペレニアルライグラス(ペレ)は、越冬条件の厳しい道東では栽培に不向きとされていましたが、さまざまな条件で栽培・調査し、弟子屈でも越冬できることを確認。この取り組みが評価され、3月に東京で行われる全国大会への出場を決めました。

2月11日  
地域の歴史に思いをはせる  
屈斜路の歴史を語る会を開催



熱心に語る話し手の皆さん  
「屈斜路の歴史を語る会」が2月11日、屈斜路研修センターで行われ、地域住民を中心に約30人が集まりました。  
1月から3月までの間、町が高齢者の方を対象に週1回、室内運動や調理実習などを行う「和琴転ばん教室」の一環として開かれたもの。70～90歳代の7人が話し手となり、開拓時から太平洋戦争後にかけての屈斜路の出来事を語りました。この日は記憶に基づいた地図も作成。学校や駐在所、商店のほか、最盛期には10カ所以上もあったというでんぶ工場の位置などが書き込まれ、参加者の皆さんは当時の様子に思いをはせていました。

2月6日～21日  
ダイヤモンドダスト in KAWAYUに合わせた  
川湯エコミュージアムセンターが夜間開館



雪の結晶を観察  
川湯エコミュージアムセンターで2月6日～21日の毎週土・日曜日、夜間開館が行われました。川湯園地で行われているイベント、ダイヤモンドダスト in KAWAYUの開催に合わせて、毎年行われているものです。  
館内には、ダイヤモンドダスト(氷晶)ができる仕組みや、見えやすい気象状況の解説が展示されました。また、川湯に降った雪の結晶を実際に顕微鏡で見られるコーナーも設置。来館した皆さんは、厳しい寒さと湯煙に包まれる川湯ならではの自然環境が作り出す造形美に、驚きの声を上げていました。

1月25日  
地域が目指すべき姿を決定  
南弟子屈地域活性化協議会で8回目の会議



取り組みについての話し合い  
南弟子屈地域活性化協議会(小澤重則会長)の第8回ワーキンググループ会議が1月25日、旧昭栄小学校で開催されました。  
同協議会は昨年5月設立。地域の活力とコミュニティーの核を担ってきた昭栄小学校の閉校を受け、地域ぐるみでのまちづくりを進めようと設立されたものです。今回は、第7回目のワーキンググループ会議で、30年後の地域があるべき姿「将来ビジョン」を策定したことを受け、ビジョン実現に向けた具体的な取り組みなどについて話し合いました。

カメラスケッチ  
広報が行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。  
まちなみ政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

1月30日～2月28日  
川湯の自然や歴史に触れながら  
馬そりで行く硫黄山ヒストリーツアー



力強い馬そりの滑りに歓声も  
摩周湖観光協会主催の「馬そりで行く硫黄山ヒストリーツアー～旧安田鉄道軌道跡産業遺産の旅」が1月30日～2月28日に行われました。  
アトサプリーでの硫黄採掘のため、北海道で2番目に敷かれた旧安田鉱山鉄道の軌道跡地約4キロを、馬そりにのって巡るものです。参加者の皆さんは、同乗したガイドから川湯温泉の成り立ち、当時の硫黄採掘の様子などの説明を聞きながら、力強い馬そりを楽しんでいました。

1月29日  
道東は地熱利用に有望  
講演会で地熱の利活用について学ぶ



興味深く聴き入る皆さん  
町主催の地熱講演会が1月29日、社会老人福祉センターで行われました。  
地熱資源の現状と今後の利活用について知ってほしいと開催されたもので、町民の皆さんなど約80人が参加。講師は、道立総合研究機構地質研究所の高橋徹哉資源環境部長で、これまでの調査結果から、道東地域は地熱利用にとって有望と主張。一方で、道東地域には国立公園があり開発が規制されていることや、温泉地との共生、送電線の整備などの課題もあるとしながら「地熱を地域資源としてとらえ、地域貢献につながる活用を地域で考えてほしい」と話しました。

2月2日～22日  
寒空に映える暖かい光  
ダイヤモンドダスト in KAWAYU



幻想的な雪囲いの会場  
2016ダイヤモンドダスト in KAWAYU(同実行委員会主催)が2月2日～22日、川湯園地ほか川湯温泉街で行われました。  
メイン会場の川湯園地周辺は約1,000個のスノーキャンドルが置かれ、ろうそくの光が訪れる方を迎えました。また、ネイティブインディアンのテント「ティビー」が子どもたちの人気を集めたほか、スノーシュー(西洋かんじき)で園地の森を散策したり、氷点下で凍るシャボン玉作りをするなどの体験プログラムも行われました。

2月2日  
火の大切さやエネルギーについて学ぶ  
L P ガス協会釧路支部が弟子屈小学校で講座



必死に火おこし  
北海道LPガス協会釧路支部(武田勝宏支部長)の皆さんが2月2日、弟子屈小学校(佐野哲哉校長)5年生に「ファイヤー探検記『炎の出前教室』」を行いました。  
人間と火との関わりや、エネルギーと環境問題への理解を深めてもらおうと、同支部が釧路管内の小学校で行っているもので、同校では3回目。同支部員のほか同支部弟子屈分会の上村保範会長など12人が来校し、人間が火と関わってきた歴史や、同支部が行う防災への取り組みなどを説明しました。また、児童は火おこしにも挑戦。火のある生活のありがたみを実感したようです。